

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

2 調査の周期・期日

周期 昭和23年度から毎年実施（昭和23年度から昭和34年度までは、統計の名称を「学校衛生統計」として実施。）。

期日 平成21年4月1日から6月30日までの間に実施された、学校保健安全法による健康診断の結果に基づき調査。

3 調査の対象

満5歳から17歳までの幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の一部（抽出調査）。
なお、調査実施校数、調査対象者数及び抽出率は、次のとおりである。

区 分	調 査 実 施 学 校（ 園 ） 数	調 査 対 象 者 数（人）	
		発育状態調査	健康状態調査
幼 稚 園	30	958	1,162
小 学 校	59	5,307	22,708
中 学 校	39	4,498	15,657
高 等 学 校	28	2,400	17,459
計	156	13,163	56,986
抽 出 率		全児童・生徒及び 幼児の7.7%を抽出	全児童・生徒及び 幼児の33.3%を抽出

(注) 発育状態の調査は、調査実施校に在籍する児童等のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態の調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

4 調査事項

- (1) 児童等の発育状態（身長、体重及び座高）
- (2) 児童等の健康状態（栄養状態、せき柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無及び結核に関する検診の結果）

5 利用上の注意

- (1) この報告書は、文部科学省がまとめた「平成21年度学校保健統計調査速報」の一部（青森県分）を要約したものであり、後日、「平成21年度学校保健統計調査報告書」として文部科学省が公表する数値が確定値となる。
- (2) 年齢は、平成21年4月1日現在の満年齢である。
- (3) 統計表の中の記号
 - ・「－」 該当者がいない場合
 - ・「…」 調査対象とならなかった場合
 - ・「0.00」 計数が単位未満の場合
- (4) 合計の数値は、四捨五入を行っているため各項目の合計と一致しない場合がある。

Ⅱ 調査結果の概要

A 発育状態

1 身長

男子は16歳を除く各年齢で、女子は15歳を除く各年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では12歳の1.6cm、女子では16歳の1.9cmとなっている。

- ① 女子の16歳の数値は、これまでの最高値となっている。
- ② 男子は7歳、女子は6歳、8歳、11歳及び16歳で全国第1位となっている。
- ③ 最大の年間発育量は、男子は12歳から13歳時の7.5cmとなっている。
女子は、9歳から10歳時及び10歳から11歳時の6.6cmとなっている。

表1 身長の平均値

区分	年齢	身長 (cm)								
		青森県での調査人数	平成21年度 (青森県) A	平成20年度 (青森県) B	差 A-B	年間発育量	平成21年度 (全国) C	差 A-C	本県 順位	
男	幼稚園	5歳	473	111.7	111.7	0.0	-	110.7	1.0	2
		小学校	6歳	444	117.2	117.9	-0.7	5.5	116.7	0.5
	7歳		443	123.7	123.8	-0.1	5.8	122.6	1.1	1
	8歳		436	129.2	129.6	-0.4	5.4	128.3	0.9	2
	9歳		443	134.3	134.4	-0.1	4.7	133.6	0.7	4
	10歳		443	140.1	139.9	0.2	5.7	138.9	1.2	3
	11歳		448	146.4	147.1	-0.7	6.5	145.1	1.3	2
	中学校	12歳	751	154.1	153.6	0.5	7.0	152.5	1.6	2
		13歳	745	161.1	161.5	-0.4	7.5	159.7	1.4	2
		14歳	749	166.6	166.4	0.2	5.1	165.2	1.4	2
	高等学校	15歳	405	169.1	169.1	0.0	2.7	168.5	0.6	6
		16歳	400	169.6	171.2	-1.6	0.5	169.9	-0.3	26
		17歳	411	171.7	171.3	0.4	0.5	170.8	0.9	2
女	幼稚園	5歳	485	110.6	110.2	0.4	-	109.9	0.7	3
		小学校	6歳	428	116.7	116.5	0.2	6.5	115.8	0.9
	7歳		433	122.1	122.5	-0.4	5.6	121.7	0.4	6
	8歳		446	128.7	129.6	-0.9	6.2	127.5	1.2	1
	9歳		448	134.8	135.1	-0.3	5.2	133.5	1.3	2
	10歳		449	141.7	142.0	-0.3	6.6	140.3	1.4	2
	11歳		446	148.6	148.4	0.2	6.6	146.9	1.7	1
	中学校	12歳	747	152.8	152.9	-0.1	4.4	151.9	0.9	3
		13歳	753	155.3	155.5	-0.2	2.4	154.9	0.4	10
		14歳	753	156.9	157.1	-0.2	1.4	156.7	0.2	13
	高等学校	15歳	389	157.1	157.6	-0.5	0.0	157.3	-0.2	27
		16歳	407	<u>159.6</u>	158.3	1.3	2.0	157.7	1.9	1
		17歳	388	158.2	158.0	0.2	-0.1	157.9	0.3	11

(注) : 1. 下線の部分は、調査実施以来過去最高を示す。

2. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の6.5cmは、146.4cm(21年度の11歳の数値) - 139.9cm(20年度の10歳の数値)で求められる。

2 体 重

男女とも全年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では14歳及び15歳の3.4kg、女子では16歳の3.4kgとなっている。

- ① 女子の16歳の数値は、これまでの最高値となっている。
- ② 男子は5歳、7歳、8歳、13歳、14歳及び15歳、女子は5歳、6歳、8歳、9歳、11歳から14歳及び16歳で全国第1位となっている。
- ③ 最大の年間発育量は、男子は13歳から14歳時の6.0kgとなっている。
女子は、10歳から11歳時の4.7kgとなっている。

表2 体重の平均値

区 分	年齢	体 重 (kg)								
		青森県 での調 査人数	平成21年度 (青森県) A	平成20年度 (青森県) B	差 A-B	年間発育量	平成21年度 (全 国) C	差 A-C	本県 順位	
男	幼稚園	5歳	473	20.0	19.7	0.3	-	19.0	1.0	1
		6歳	444	22.1	22.9	-0.8	2.4	21.5	0.6	3
	小学校	7歳	443	25.4	25.6	-0.2	2.5	24.1	1.3	1
		8歳	436	28.9	29.6	-0.7	3.3	27.2	1.7	1
		9歳	443	32.3	32.2	0.1	2.7	30.6	1.7	2
		10歳	443	35.9	35.5	0.4	3.7	34.2	1.7	3
		11歳	448	40.5	41.6	-1.1	5.0	38.4	2.1	3
	中学校	12歳	751	46.3	46.6	-0.3	4.7	44.2	2.1	3
		13歳	745	52.3	51.7	0.6	5.7	49.1	3.2	1
		14歳	749	57.7	57.4	0.3	6.0	54.3	3.4	1
	高等学校	15歳	405	62.9	62.6	0.3	5.5	59.5	3.4	1
		16歳	400	63.0	65.2	-2.2	0.4	61.3	1.7	2
		17歳	411	65.7	65.4	0.3	0.5	63.1	2.6	2
	女	幼稚園	5歳	485	19.3	19.1	0.2	-	18.6	0.7
6歳			428	21.9	22.1	-0.2	2.8	21.0	0.9	1
小学校		7歳	433	24.1	24.6	-0.5	2.0	23.5	0.6	3
		8歳	446	28.2	29.1	-0.9	3.6	26.5	1.7	1
		9歳	448	31.5	31.8	-0.3	2.4	30.0	1.5	1
		10歳	449	35.6	36.6	-1.0	3.8	34.1	1.5	3
		11歳	446	41.3	42.0	-0.7	4.7	39.0	2.3	1
中学校		12歳	747	45.9	46.5	-0.6	3.9	43.8	2.1	1
		13歳	753	49.4	48.9	0.5	2.9	47.3	2.1	1
		14歳	753	51.8	52.4	-0.6	2.9	50.2	1.6	1
高等学校		15歳	389	52.3	54.5	-2.2	-0.1	51.6	0.7	12
		16歳	407	<u>56.2</u>	55.3	0.9	1.7	52.8	3.4	1
		17歳	388	53.7	53.8	-0.1	-1.6	52.9	0.8	12

(注) : 1. 下線の部分は、調査実施以来過去最高を示す。

2. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の5.0kgは、40.5kg(21年度の11歳の数値) - 35.5kg(20年度の10歳の数値)で求められる。

3 座 高

男女とも全年齢で全国平均以上の数値となっており、その差が最も大きいのは、男子では12歳及び14歳の1.0cm、女子では16歳の0.9cmとなっている。

- ① 男子の14歳及び17歳、女子の16歳及び17歳の数値は、これまでの最高値となっている。(男子の17歳及び女子の17歳は、平成20年度と同数値)
- ② 男子は5歳及び8歳、女子は8歳、11歳及び16歳で全国第1位となっている。
- ③ 年間発育量が最大なのは、男子は12歳から13歳時の3.8cmとなっている。
女子は、10歳から11歳時の3.3cmとなっている。

表3 座高の平均値

区 分	年齢	座 高 (cm)								
		青森県 での調 査人数	平成21年度 (青森県) A	平成20年度 (青森県) B	差 A-B	年間発育量	平成21年度 (全 国) C	差 A-C	本県 順位	
男	幼稚園	5歳	416	62.6	62.7	-0.1	-	61.9	0.7	1
	小学校	6歳	444	65.1	65.7	-0.6	2.4	64.9	0.2	10
		7歳	443	68.3	68.5	-0.2	2.6	67.7	0.6	2
		8歳	436	70.9	71.1	-0.2	2.4	70.3	0.6	1
		9歳	443	73.0	73.2	-0.2	1.9	72.7	0.3	8
		10歳	443	75.5	75.3	0.2	2.3	75.0	0.5	2
		11歳	448	78.4	78.8	-0.4	3.1	77.6	0.8	2
	中学校	12歳	751	82.3	82.0	0.3	3.5	81.3	1.0	2
		13歳	745	85.8	85.9	-0.1	3.8	84.9	0.9	2
		14歳	749	<u>89.1</u>	88.9	0.2	3.2	88.1	1.0	2
高等学校	15歳	405	91.1	90.8	0.3	2.2	90.3	0.8	2	
	16歳	400	91.2	91.9	-0.7	0.4	91.2	0.0	21	
	17歳	411	<u>92.2</u>	92.2	0.0	0.3	91.8	0.4	9	
女	幼稚園	5歳	418	61.9	61.9	0.0	-	61.5	0.4	5
	小学校	6歳	428	64.8	65.0	-0.2	2.9	64.5	0.3	4
		7歳	433	67.3	67.8	-0.5	2.3	67.3	0.0	17
		8歳	446	70.6	71.1	-0.5	2.8	70.0	0.6	1
		9歳	448	73.2	73.5	-0.3	2.1	72.7	0.5	2
		10歳	449	76.7	76.8	-0.1	3.2	75.9	0.8	2
		11歳	446	80.1	80.4	-0.3	3.3	79.3	0.8	1
	中学校	12歳	747	82.9	82.9	0.0	2.5	82.1	0.8	2
		13歳	753	84.3	84.0	0.3	1.4	83.7	0.6	3
		14歳	753	85.1	85.2	-0.1	1.1	84.8	0.3	10
	高等学校	15歳	389	85.8	85.9	-0.1	0.6	85.3	0.5	6
		16歳	407	<u>86.5</u>	86.2	0.3	0.6	85.6	0.9	1
		17歳	388	<u>86.0</u>	86.0	0.0	-0.2	85.7	0.3	8

(注) : 1. 下線の部分は、調査実施以来過去最高を示す。

2. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の3.1cmは、78.4cm(21年度の11歳の数値) - 75.3cm(20年度の10歳の数値)で求められる。

4 30年前（親の世代）との比較

本県の身長・体重・座高の平均値は、親の世代である30年前の昭和54年度と比較すると、各項目において男女とも全ての年齢で向上している。

① 身長

男子の身長を比較すると、最も差のある年齢は12歳で4.2cm親の世代より高い。
また、女子では16歳で3.3cm親の世代より高い。

② 体重

男子の体重を比較すると、最も差のある年齢は15歳で5.9kg親の世代より重い。
また、女子では16歳で3.3kg親の世代より重い。

③ 座高

男子の座高を比較すると、最も差のある年齢は12歳及び14歳で2.3cm親の世代より高い。

また、女子では11歳で1.8cm親の世代より高い。

表4 30年前の身長・体重・座高の平均値との比較

区分	年齢	身長 (cm)			体重 (kg)			座高 (cm)			
		平成21年度 A	昭和54年度 B	差 A-B	平成21年度 C	昭和54年度 D	差 C-D	平成21年度 E	昭和54年度 F	差 E-F	
男	幼稚園	5歳	111.7	110.6	1.1	20.0	19.3	0.7	62.6	62.1	0.5
		6歳	117.2	116.1	1.1	22.1	21.1	1.0	65.1	64.9	0.2
	小学校	7歳	123.7	122.1	1.6	25.4	24.2	1.2	68.3	67.8	0.5
		8歳	129.2	126.9	2.3	28.9	26.3	2.6	70.9	69.8	1.1
		9歳	134.3	132.7	1.6	32.3	29.9	2.4	73.0	72.2	0.8
		10歳	140.1	137.5	2.6	35.9	33.0	2.9	75.5	74.2	1.3
		11歳	146.4	143.0	3.4	40.5	36.7	3.8	78.4	76.6	1.8
	中学校	12歳	154.1	149.9	4.2	46.3	42.0	4.3	82.3	80.0	2.3
		13歳	161.1	157.6	3.5	52.3	48.0	4.3	85.8	83.9	1.9
		14歳	166.6	163.4	3.2	57.7	53.6	4.1	89.1	86.8	2.3
	高等学校	15歳	169.1	166.9	2.2	62.9	57.0	5.9	91.1	89.3	1.8
		16歳	169.6	168.2	1.4	63.0	59.3	3.7	91.2	89.7	1.5
		17歳	171.7	169.4	2.3	65.7	60.7	5.0	92.2	90.3	1.9
女	幼稚園	5歳	110.6	109.7	0.9	19.3	18.7	0.6	61.9	61.6	0.3
		6歳	116.7	115.4	1.3	21.9	20.8	1.1	64.8	64.4	0.4
	小学校	7歳	122.1	121.2	0.9	24.1	23.1	1.0	67.3	67.1	0.2
		8歳	128.7	126.5	2.2	28.2	25.6	2.6	70.6	69.4	1.2
		9歳	134.8	132.7	2.1	31.5	29.2	2.3	73.2	72.2	1.0
		10歳	141.7	138.8	2.9	35.6	33.3	2.3	76.7	75.0	1.7
		11歳	148.6	145.5	3.1	41.3	38.5	2.8	80.1	78.3	1.8
	中学校	12歳	152.8	150.4	2.4	45.9	43.2	2.7	82.9	81.3	1.6
		13歳	155.3	154.3	1.0	49.4	47.5	1.9	84.3	83.4	0.9
		14歳	156.9	155.3	1.6	51.8	50.1	1.7	85.1	84.1	1.0
	高等学校	15歳	157.1	155.8	1.3	52.3	51.8	0.5	85.8	84.8	1.0
		16歳	159.6	156.3	3.3	56.2	52.9	3.3	86.5	85.0	1.5
		17歳	158.2	156.6	1.6	53.7	53.1	0.6	86.0	85.0	1.0

図1 30年前（親の世代）の身長・体重の平均値との比較

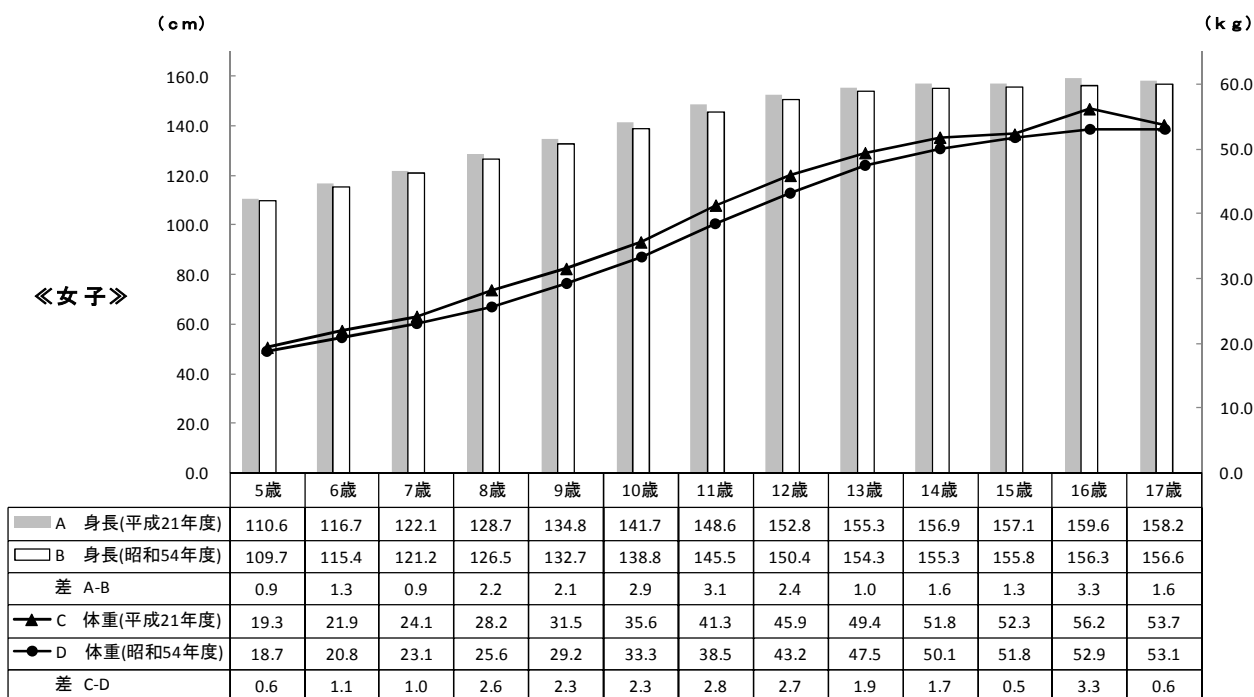
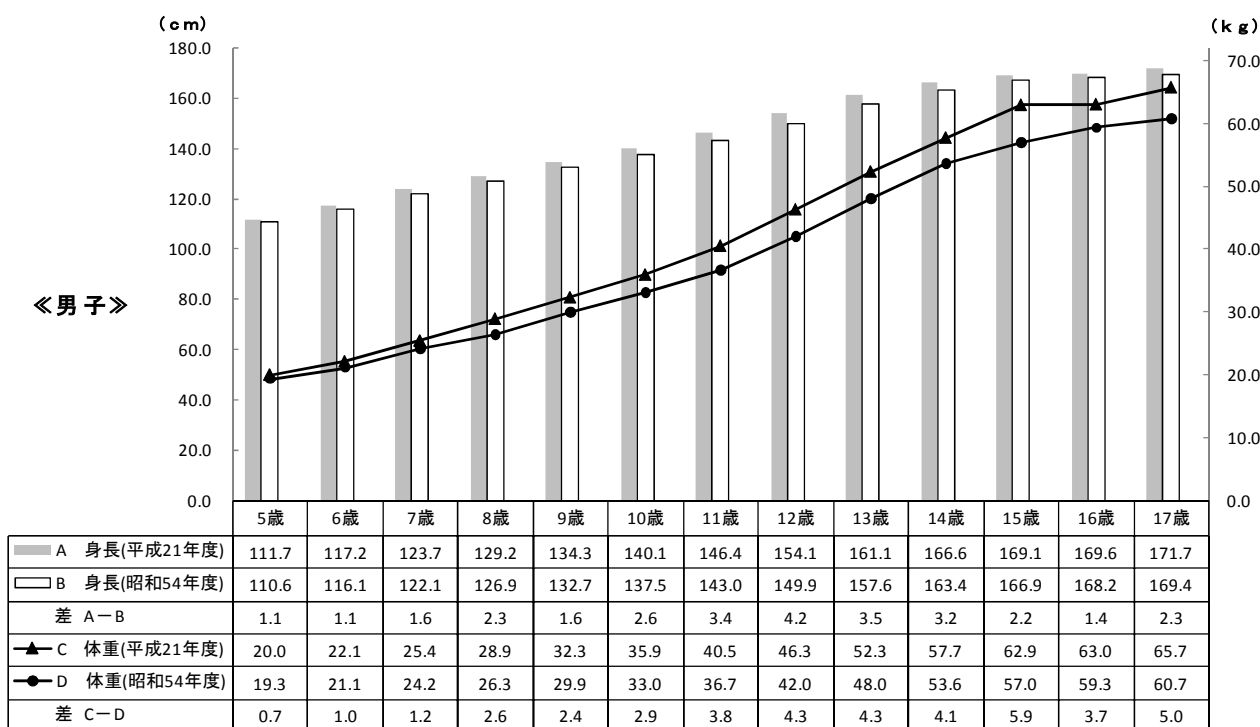


表5 身長に占める足の長さの割合

(単位：%)

区分	幼稚園	小学校						中学校				高等学校		
	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
男	平成21年度 A	44.0	44.5	44.8	45.1	45.6	46.1	46.4	46.6	46.7	46.5	46.1	46.2	46.3
	昭和54年度 B	43.9	44.1	44.5	45.0	45.6	46.0	46.4	46.6	46.8	46.9	46.5	46.7	46.7
	差(A-B)	0.1	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	-0.4	-0.4	-0.4	-0.4
女	平成21年度 C	44.0	44.5	44.9	45.1	45.7	45.9	46.1	45.7	45.7	45.8	45.4	45.8	45.6
	昭和54年度 D	43.8	44.2	44.6	45.1	45.6	46.0	46.2	45.9	45.9	45.8	45.6	45.6	45.7
	差(C-D)	0.2	0.3	0.2	0.0	0.1	-0.1	-0.1	-0.2	-0.2	-0.1	-0.2	0.2	-0.1

注：割合(A, B)の数値は四捨五入を行っているため、差(A-B)とは一致しない場合がある。

5 高等学校3年生の12年間の発育量

高等学校3年生（17歳）の幼稚園入園時（平成9年度に5歳）から12年間の発育量は、男子の身長が60.5cm、体重が45.8kg、女子の身長が47.6cm、体重が34.0kgとなっている。

- ① 年間発育量の大きい時期を見ると、男子は身長で小学校6年生から中学校1年生の間（7.7cm）、体重で小学校6年生から中学校1年生の間（6.5kg）となっており、女子は身長で小学校4年生から5年生の間（7.1cm）、体重で小学校5年生から6年生の間（5.2kg）となっている。
- ② 年間発育量が最も大きい時期を親の世代と比較すると、男子の身長及び女子の体重では同時期に、男子の体重では2歳早く、女子の身長では1歳早く、ピークを迎えている。

表6 高等学校3年生の12年間の発育量（親の世代との比較）

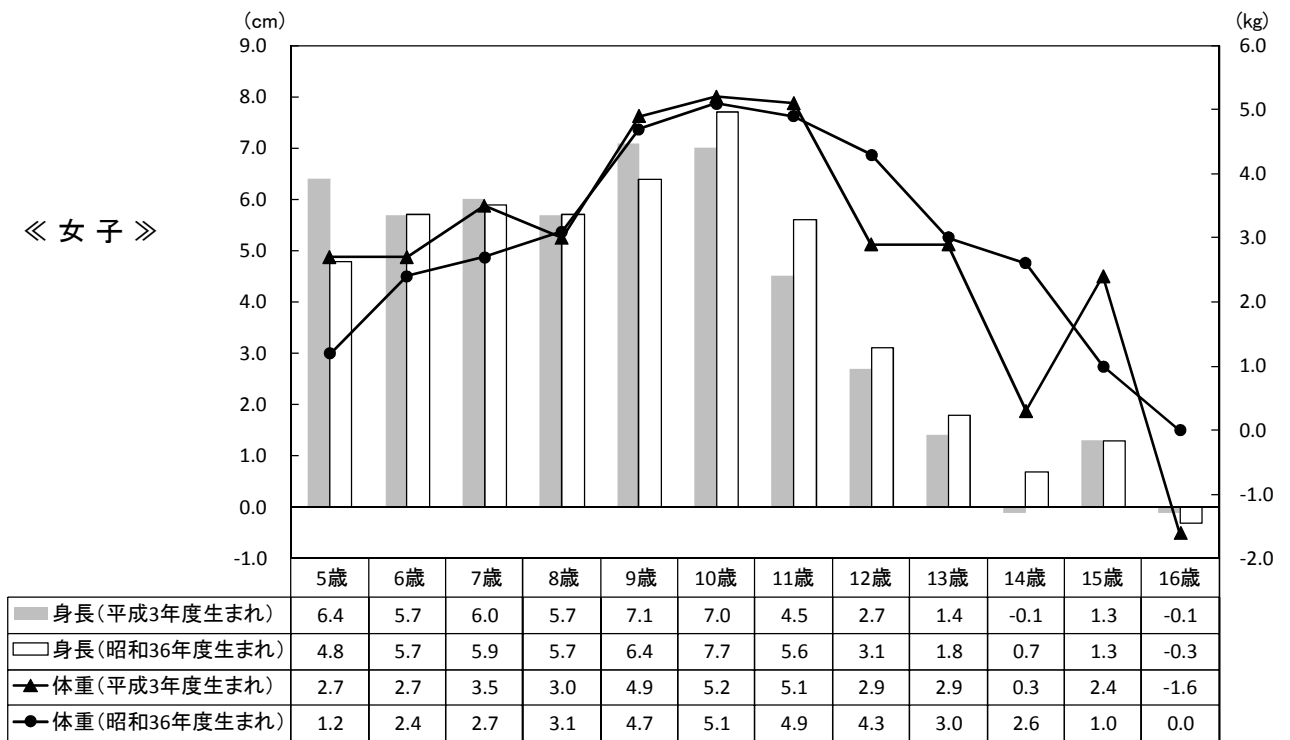
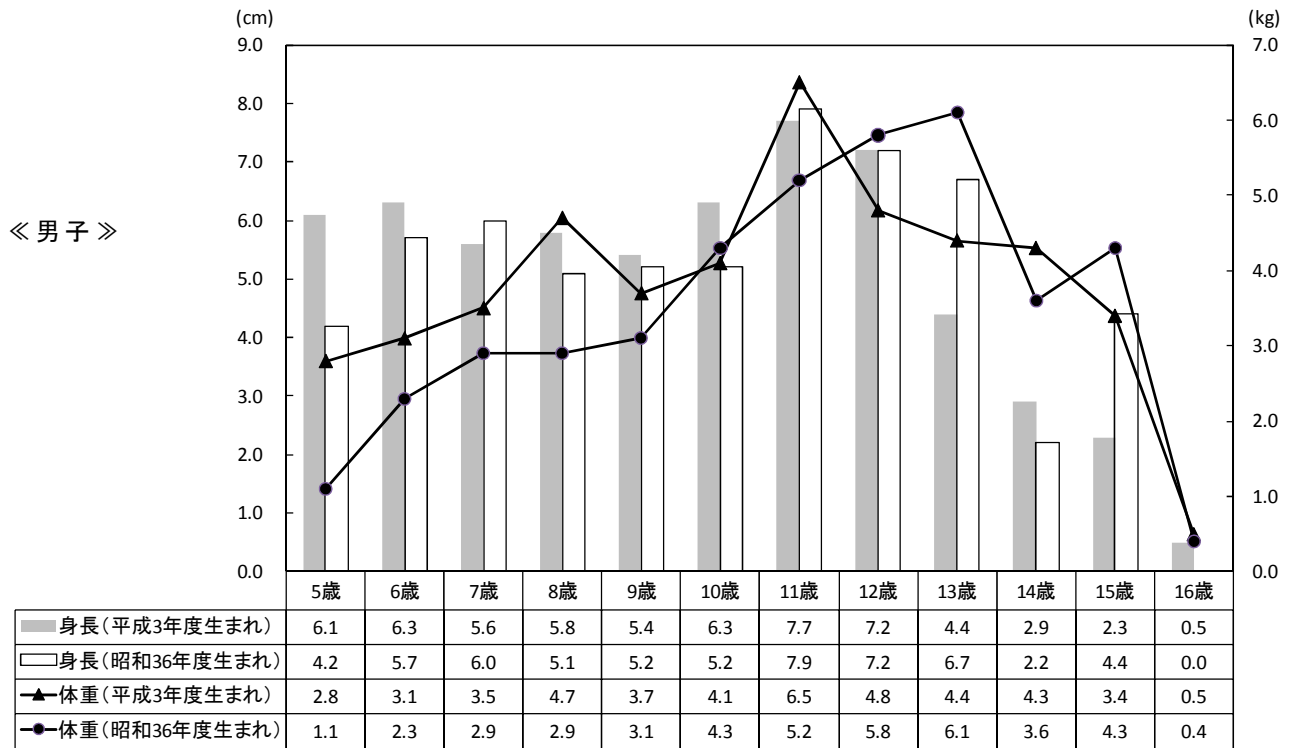
－ 平成3年度生まれ（平成21年度17歳）と昭和36年度生まれ（昭和54年度17歳）の比較 －

区 分	当時	身 長 (c m)				体 重 (k g)				
		平成3年度 生まれ	年 間 発育量	昭和36年度 生まれ	年 間 発育量	平成3年度 生まれ	年 間 発育量	昭和36年度 生まれ	年 間 発育量	
男	幼稚園	5歳	111.2	6.1	109.6	4.2	19.9	2.8	18.7	1.1
	小学校	6歳	117.3	6.3	113.8	5.7	22.7	3.1	19.8	2.3
		7歳	123.6	5.6	119.5	6.0	25.8	3.5	22.1	2.9
		8歳	129.2	5.8	125.5	5.1	29.3	4.7	25.0	2.9
		9歳	135.0	5.4	130.6	5.2	34.0	3.7	27.9	3.1
		10歳	140.4	6.3	135.8	5.2	37.7	4.1	31.0	4.3
		11歳	146.7	7.7	141.0	7.9	41.8	6.5	35.3	5.2
	中学校	12歳	154.4	7.2	148.9	7.2	48.3	4.8	40.5	5.8
		13歳	161.6	4.4	156.1	6.7	53.1	4.4	46.3	6.1
		14歳	166.0	2.9	162.8	2.2	57.5	4.3	52.4	3.6
	高等学校	15歳	168.9	2.3	165.0	4.4	61.8	3.4	56.0	4.3
		16歳	171.2	0.5	169.4	0.0	65.2	0.5	60.3	0.4
		17歳	171.7		169.4		65.7		60.7	
	12年間の発育量			60.5		59.8		45.8		42.0
女	幼稚園	5歳	110.6	6.4	108.2	4.8	19.7	2.7	18.1	1.2
	小学校	6歳	117.0	5.7	113.0	5.7	22.4	2.7	19.3	2.4
		7歳	122.7	6.0	118.7	5.9	25.1	3.5	21.7	2.7
		8歳	128.7	5.7	124.6	5.7	28.6	3.0	24.4	3.1
		9歳	134.4	7.1	130.3	6.4	31.6	4.9	27.5	4.7
		10歳	141.5	7.0	136.7	7.7	36.5	5.2	32.2	5.1
		11歳	148.5	4.5	144.4	5.6	41.7	5.1	37.3	4.9
	中学校	12歳	153.0	2.7	150.0	3.1	46.8	2.9	42.2	4.3
		13歳	155.7	1.4	153.1	1.8	49.7	2.9	46.5	3.0
		14歳	157.1	-0.1	154.9	0.7	52.6	0.3	49.5	2.6
	高等学校	15歳	157.0	1.3	155.6	1.3	52.9	2.4	52.1	1.0
		16歳	158.3	-0.1	156.9	-0.3	55.3	-1.6	53.1	0.0
		17歳	158.2		156.6		53.7		53.1	
	12年間の発育量			47.6		48.4		34.0		35.0

注：1. 年間発育量とは、例えば、平成3年度生まれの「5歳時」の年間発育量は、平成10年度調査6歳の者の体位から平成9年度調査5歳の者の体位を引いたものである。

2. 昭和36年度生まれの8歳と9歳の数値は、都道府県集計が行われていないため、全国値によった。

図2 高等学校3年生の12年間の発育量（親の世代との比較）



6 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

肥満傾向児及び痩身傾向児の本県と全国における出現率は次のとおりで、肥満傾向児の出現率が、男女とも全年齢で全国値以上の数値となっている。

① 肥満傾向児

男子では、15歳の出現率が22.47%で最も高率となっており、全国値との差では15歳が最も大きく、10.36ポイント上回っている。

女子では、13歳の出現率が14.41%で最も高率となっており、全国値との差では8歳が最も大きく、6.54ポイント上回っている。

② 痩身傾向児

男子では、12歳の出現率が3.08%で最も高率となっており、全国値との差では12歳が最も大きく、0.70ポイント上回っている。

女子では、12歳の出現率が4.52%で最も高率となっており、全国値との差では6歳が最も大きく、0.38ポイント上回っている。

表7 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

区 分		年齢	肥満傾向児						痩身傾向児					
			平成21年度 (青森県)	平成20年度 (青森県)	差	全 国	差	本県	平成21年度 (青森県)	平成20年度 (青森県)	差	全 国	差	本県
			A	B	A-B	C	A-C	順位	D	E	D-E	F	D-F	順位
男	幼稚園	5歳	8.14	4.40	3.74	2.75	5.39	1	0.09	0.00	0.09	0.34	-0.25	38
		6歳	7.72	10.48	-2.76	4.55	3.17	3	0.00	0.19	-0.19	0.44	-0.44	40
	小学校	7歳	11.15	11.12	0.03	5.60	5.55	1	0.00	0.22	-0.22	0.43	-0.43	42
		8歳	14.03	15.57	-1.54	7.53	6.50	1	1.08	0.76	0.32	1.06	0.02	24
		9歳	15.20	15.30	-0.10	9.57	5.63	3	0.85	2.17	-1.32	1.69	-0.84	40
		10歳	12.99	13.58	-0.59	10.76	2.23	7	1.55	2.93	-1.38	2.57	-1.02	45
		11歳	12.26	17.65	-5.39	10.61	1.65	12	2.27	2.91	-0.64	3.28	-1.01	40
	中学校	12歳	16.36	16.66	-0.30	11.49	4.87	3	3.08	1.97	1.11	2.38	0.70	6
		13歳	14.83	12.41	2.42	9.71	5.12	2	2.04	2.14	-0.10	1.68	0.36	7
		14歳	13.80	16.27	-2.47	9.55	4.25	3	1.25	1.11	0.14	1.94	-0.69	37
	高等学校	15歳	22.47	20.35	2.12	12.11	10.36	1	1.77	3.16	-1.39	2.45	-0.68	31
		16歳	14.98	17.52	-2.54	11.20	3.78	4	1.07	1.26	-0.19	1.85	-0.78	41
		17歳	18.76	16.51	2.25	11.27	7.49	1	1.40	1.30	0.10	1.77	-0.37	31
	女	幼稚園	5歳	4.86	4.53	0.33	2.65	2.21	4	0.14	0.70	-0.56	0.51	-0.37
6歳			8.99	9.24	-0.25	4.17	4.82	1	0.98	0.48	0.50	0.60	0.38	6
小学校		7歳	10.56	8.50	2.06	5.40	5.16	2	0.82	0.34	0.48	0.52	0.30	9
		8歳	13.59	15.09	-1.50	7.05	6.54	1	0.65	0.18	0.47	1.18	-0.53	39
		9歳	13.06	12.29	0.77	7.58	5.48	2	1.37	0.96	0.41	1.79	-0.42	36
		10歳	12.02	14.21	-2.19	8.26	3.76	2	2.09	3.29	-1.20	2.80	-0.71	30
		11歳	10.66	13.54	-2.88	8.74	1.92	8	1.50	1.32	0.18	2.70	-1.20	42
中学校		12歳	13.51	15.87	-2.36	9.04	4.47	2	4.52	2.47	2.05	4.37	0.15	13
		13歳	14.41	10.95	3.46	8.13	6.28	1	2.91	3.21	-0.30	3.64	-0.73	29
		14歳	13.64	13.57	0.07	8.21	5.43	1	2.62	2.04	0.58	2.95	-0.33	26
高等学校		15歳	12.25	17.06	-4.81	8.47	3.78	7	1.88	2.66	-0.78	2.55	-0.67	31
		16歳	13.80	12.98	0.82	8.27	5.53	2	1.12	2.21	-1.09	1.86	-0.74	37
		17歳	8.35	9.36	-1.01	8.35	0.00	27	0.71	2.71	-2.00	1.69	-0.98	43

注： 1. 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。
2. 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

※ 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100%

B 健康状態

1 疾病・異常の被患率等別の状況

疾病・異常を被患率等別にみると、いずれの学校区分においても「むし歯（う歯）」が最も高い。

表 8 疾病・異常の被患率等

区 分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
90%以上					
80%以上～90%未満					
70 ～ 80		むし歯（う歯）		むし歯（う歯）	
60 ～ 70	むし歯（う歯）		むし歯（う歯）		
50 ～ 60					
40 ～ 50		裸眼視力1.0未満の者			
30 ～ 40					
20 ～ 30					
10 ～ 20		鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患	
1～10	8～10				
	6～8	耳疾患	歯・口腔のその他の疾病・異常	歯列・咬合	
	4～6	歯列・咬合	耳疾患 眼の疾病・異常	歯肉の状態 歯垢の状態 耳疾患	歯肉の状態 歯垢の状態 歯列・咬合
	2～4	口腔咽喉頭疾患・異常	栄養状態 歯列・咬合 歯垢の状態 ぜん息 歯肉の状態	眼の疾病・異常 心電図異常	眼の疾病・異常
	1～2	眼の疾病・異常 歯肉の状態 歯・口腔のその他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎 その他の皮膚疾患 その他の疾病・異常	アトピー性皮膚炎 心電図異常 その他の疾病・異常 口腔咽喉頭疾患・異常	アトピー性皮膚炎 蛋白検出の者 歯・口腔のその他の疾病・異常 その他の疾病・異常 ぜん息 難聴	耳疾患 蛋白検出の者 心電図異常 その他の疾病・異常 栄養状態
0.1～1	0.5～1	ぜん息 歯垢の状態	難聴 蛋白検出の者 その他の皮膚疾患	栄養状態 せき柱・胸郭異常	ぜん息 アトピー性皮膚炎 口腔咽喉頭疾患・異常 難聴
	0.1～0.5	顎関節 栄養状態 腎臓疾患 せき柱・胸郭異常 心臓の疾病・異常	心臓の疾病・異常 言語障害 せき柱・胸郭異常 尿糖検出の者 腎臓疾患	口腔咽喉頭疾患・異常 心臓の疾病・異常 顎関節 その他の皮膚疾患 尿糖検出の者 腎臓疾患	歯・口腔のその他の疾病・異常 顎関節 尿糖検出の者 心臓の疾病・異常 せき柱・胸郭異常 結核 腎臓疾患 その他の皮膚疾患
0.1未満		顎関節 寄生虫卵保有者		言語障害	
該当者なし	蛋白検出の者 寄生虫卵保有者 言語障害	結核	結核 言語障害		
非公表	裸眼視力1.0未満の者 鼻・副鼻腔疾患		裸眼視力1.0未満の者	裸眼視力1.0未満の者	

- (注) 1. 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、へんとう肥大、咽頭炎、喉頭炎、へんとう炎、音声言語異常のある者等である。
 2. 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石等のある者等である。
 3. 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。
 4. 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。
 5. 「その他の疾病・異常」とは、いずれの調査項目にも該当しない疾病・異常である。
 6. 「非公表」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満、または回答校が1校以下のため統計数値が公表されていないものである。

2 主な疾病・異常等の推移

疾病・異常等のうち主なものについて、その推移をみると表9のとおりである。

表9 主な疾病・異常等の推移

(単位：%)

区分	未裸満眼の視者力 1.0	耳疾患	疾鼻・副鼻患腔	疾口腔・咽喉異常頭	(むうし歯)歯	の蛋白検者出	心電図異常	保寄生虫者卵	ぜん息	
幼稚園	平成11年度	44.9	1.9	2.4	6.8	76.4	0.3	…	-	0.1
	平成17年度	14.7	2.8	7.1	3.1	62.9	0.4	…	-	0.3
	平成18年度	X	3.7	9.8	5.0	68.0	0.4	…	-	-
	平成19年度	X	0.2	1.2	0.7	66.4	0.2	…	-	0.1
	平成20年度	X	3.1	9.5	1.4	64.7	0.6	…	-	1.2
	平成21年度	X	7.5	X	2.2	60.5	-	…	-	0.6
	全 国	24.9	2.9	4.0	2.0	46.5	0.6	…	0.2	2.2
小学校	平成11年度	38.8	4.3	17.2	2.0	85.0	0.3	0.8	0.1	0.6
	平成17年度	38.6	6.1	14.9	1.6	77.7	0.3	1.5	-	1.2
	平成18年度	40.8	5.5	15.2	1.7	76.9	0.5	1.7	0.0	1.3
	平成19年度	40.7	6.0	15.8	1.1	76.8	1.0	1.7	-	1.4
	平成20年度	43.1	4.8	15.1	1.3	74.3	0.3	1.5	0.0	2.0
	平成21年度	42.8	5.0	16.8	1.0	71.6	0.6	1.5	0.0	2.4
	全 国	29.7	5.5	12.6	1.6	61.8	0.8	2.5	0.3	4.0
中学校	平成11年度	59.5	2.0	12.3	1.8	82.8	0.9	1.5	…	0.4
	平成17年度	58.9	1.6	10.7	0.9	67.0	1.0	1.6	…	0.9
	平成18年度	61.0	1.8	11.1	0.8	68.0	1.0	1.7	…	1.1
	平成19年度	60.6	1.9	8.1	0.3	65.2	1.8	2.1	…	0.7
	平成20年度	64.5	3.1	15.6	1.9	68.8	1.7	1.9	…	1.8
	平成21年度	X	4.1	14.9	0.4	64.9	1.2	2.1	…	1.0
	全 国	52.5	3.4	10.8	0.8	52.9	2.5	3.3	…	3.0
高等学校	平成11年度	65.4	1.3	9.5	1.3	89.1	1.8	1.7	…	0.3
	平成17年度	68.2	0.7	9.5	0.7	77.6	1.2	2.6	…	0.5
	平成18年度	57.6	1.1	8.1	0.4	75.8	2.8	1.6	…	0.7
	平成19年度	59.8	3.2	X	0.3	72.2	2.1	1.2	…	1.0
	平成20年度	68.1	2.5	X	0.8	71.0	2.4	1.6	…	0.7
	平成21年度	X	2.0	12.2	0.7	73.4	1.7	1.6	…	0.8
	全 国	59.4	2.0	9.6	0.7	62.2	2.9	3.4	…	1.9

- 注： 1. 小数点以下第2位を四捨五入している。
 2. 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。
 3. 寄生虫卵保有者については、5歳から8歳のみ実施している。
 4. 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。

(1) 鼻・副鼻腔疾患

① 鼻・副鼻腔疾患（蓄のう症、アレルギー性鼻炎など）の被患率は、小学校、中学校及び高等学校の区分で、全国平均を上回っている。

- ・小学校では16.8%（全国平均12.6%）
- ・中学校では14.9%（同10.8%）
- ・高等学校では12.2%（同9.6%）

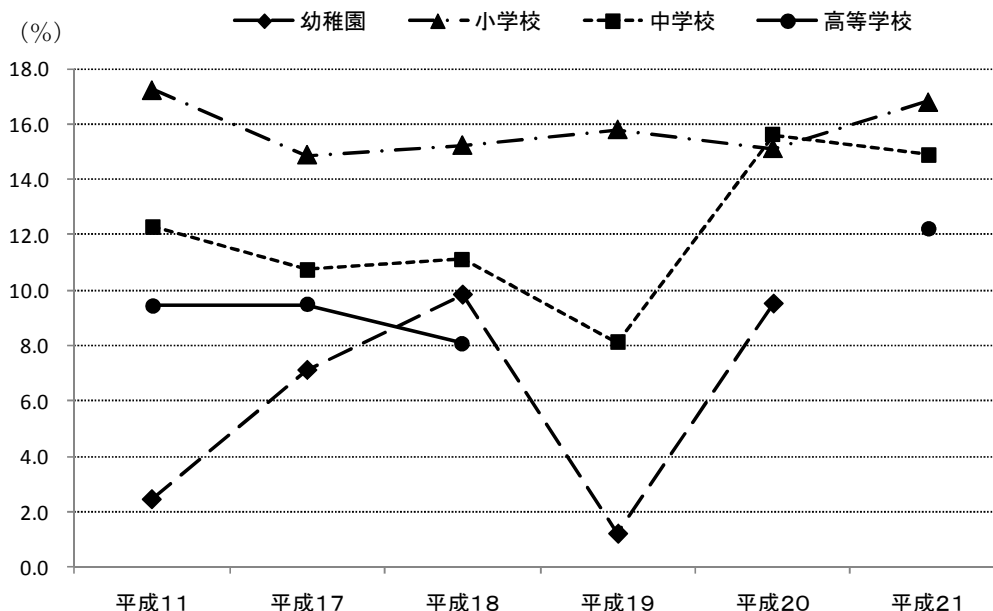
② 10年前と比較すると、中学校及び高等学校の学校区分において、その割合が増加している。

表 10 鼻・副鼻腔疾患の者の推移

(単位:%)

区 分	平成11	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	全国平均 平成21
幼稚園	2.4	7.1	9.8	1.2	9.5	X	4.0
小学校	17.2	14.9	15.2	15.8	15.1	16.8	12.6
中学校	12.3	10.7	11.1	8.1	15.6	14.9	10.8
高等学校	9.5	9.5	8.1	X	X	12.2	9.6

図 3 鼻・副鼻腔疾患の者の推移



(2) むし歯（う歯）

① むし歯の被患率（処置完了者を含む）は、全学校区分で全国平均を上回っている。

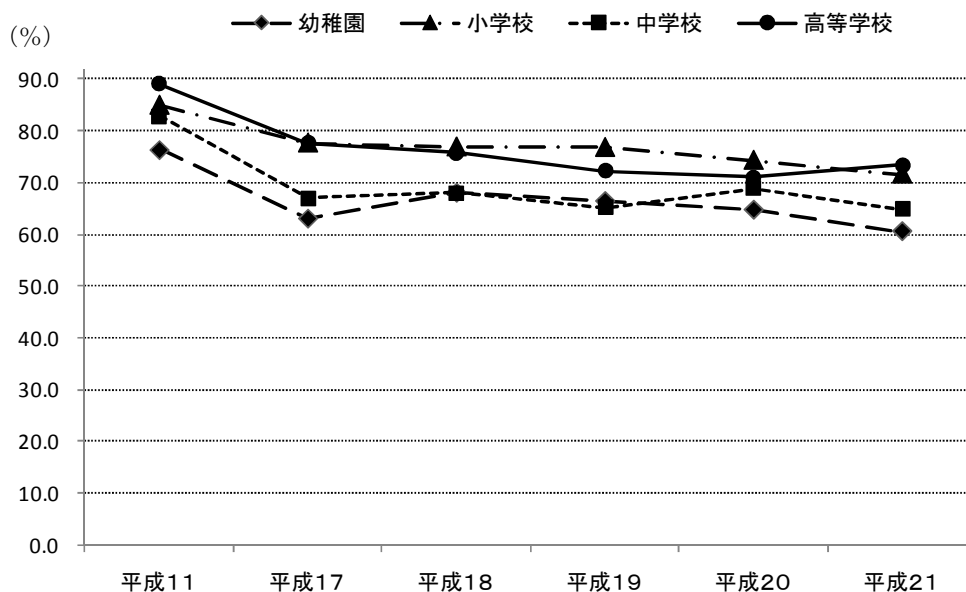
- ・幼稚園では60.5%（全国平均46.5%）
- ・小学校では71.6%（同61.8%）
- ・中学校では64.9%（同52.9%）
- ・高等学校では73.4%（同62.2%）

② 10年前と比較すると、全学校区分においてその割合は減少している。

表11 むし歯（う歯）の被患率の推移

区 分		平成11	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	(単位:%) 全国平均 平成21
幼稚園	計	76.4	62.9	68.0	66.4	64.7	60.5	46.5
	処置完了者	24.8	19.7	23.5	23.7	22.5	21.3	18.8
	未処置歯のある者	51.6	43.3	44.5	42.7	42.2	39.2	27.7
小学校	計	85.0	77.7	76.9	76.8	74.3	71.6	61.8
	処置完了者	36.3	32.6	33.0	30.4	30.8	32.1	30.3
	未処置歯のある者	48.8	45.1	43.9	46.4	43.5	39.5	31.5
中学校	計	82.8	67.0	68.0	65.2	68.8	64.9	52.9
	処置完了者	44.2	41.0	37.7	36.2	35.6	35.2	28.8
	未処置歯のある者	38.6	26.1	30.3	29.0	33.2	29.7	24.1
高等学校	計	89.1	77.6	75.8	72.2	71.0	73.4	62.2
	処置完了者	45.1	42.8	38.6	38.7	34.3	37.7	34.7
	未処置歯のある者	44.0	34.8	37.3	33.5	36.7	35.7	27.5

図4 むし歯（う歯）の被患率の推移



(3) 心電図異常

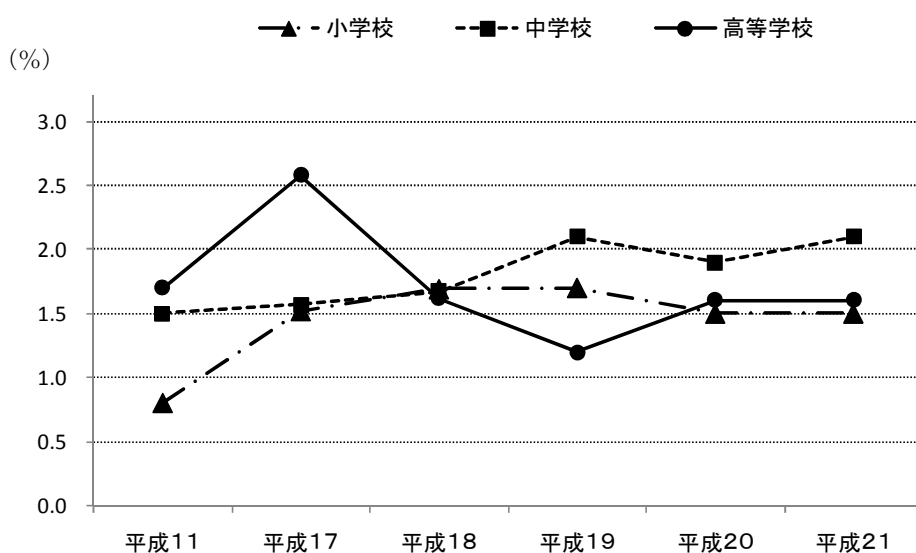
- ① 心電図異常の者の割合は、小学校、中学校及び高等学校のいずれの学校区分においても全国平均を下回っている。
- ・小学校では1.5% (全国平均2.5%)
 - ・中学校では2.1% (同3.3%)
 - ・高等学校では1.6% (同3.4%)
- ② 10年前と比較すると、小学校、中学校及の学校区分において、その割合は増加している。

表 12 心電図異常の者の推移

区 分	(単位:%)						全国平均 平成21
	平成11	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	
小 学 校	0.8	1.5	1.7	1.7	1.5	1.5	2.5
中 学 校	1.5	1.6	1.7	2.1	1.9	2.1	3.3
高 等 学 校	1.7	2.6	1.6	1.2	1.6	1.6	3.4

(注)心電図の調査は、6歳、12歳及び15歳のみ実施している。

図 5 心電図異常の者の推移



(4) ぜん息

- ① ぜん息の者の割合は、全学校区分で全国平均を下回っている。
- ・幼稚園では0.6% (全国平均2.2%)
 - ・小学校では2.4% (同4.0%)
 - ・中学校では1.0% (同3.0%)
 - ・高等学校では0.8% (同1.9%)
- ② 10年前と比較すると、全ての学校区分において、その割合は増加している。

表 13 ぜん息の者の推移

(単位:%)

区 分	平成11	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	全国平均 平成21
幼 稚 園	0.1	0.3	-	0.1	1.2	0.6	2.2
小 学 校	0.6	1.2	1.3	1.4	2.0	2.4	4.0
中 学 校	0.4	0.9	1.1	0.7	1.8	1.0	3.0
高 等 学 校	0.3	0.5	0.7	1.0	0.7	0.8	1.9

図 6 ぜん息の者の推移

